

# エレベータ・エスカレータの安全な乗り方を伝える 「安全ノート」改訂版を発行

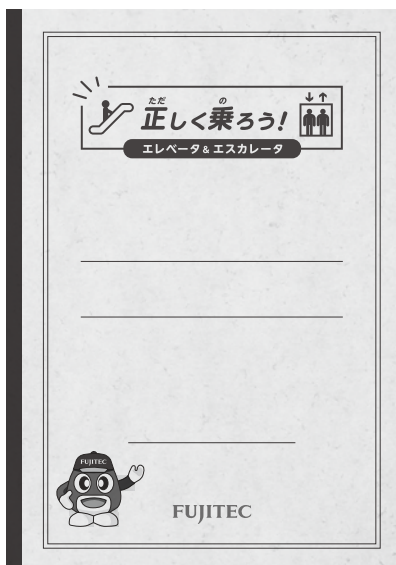
フジテック株式会社

## 冒頭

フジテック株式会社（本社：滋賀県彦根市、社長：原田政佳）は、小学生を対象にエレベータ・エスカレータの安全な乗り方を伝える「安全ノート」を制作しています。このたび、従来の小冊子から、ノート用紙30枚（60ページ）入りに変更し、安全な乗り方を繰り返し学習・実践して身に付けてもらうことができる学習帳に改訂しました。

## 安全ノートとは？

エレベータ・エスカレータの周辺での子どもたちの何気ない行動は、思わぬ事故に結び付くことがあります。当社はそのような事故を撲滅するため、特に体が小さく事故に遭う危険性の高い小学生を対象に、安全啓発活動を行っています。安全ノートは、その一環として2010年に作成し、これまでに1万8,000冊以上を当社拠点のある地域の小学校に配布しています。



## 改訂点①形式の変更

形式の変更として、従来の小冊子から学習帳へ変更しました。ノート部分は小学生に馴染みのある5mm方眼罫にし、デザインもノートの白地に合わせて優しい色合いに変更しました。

学習帳にした理由は、ノートとして使用いただき、子どもたちが安全ノートを開けるたびに繰り返し目にすることで、安全に関する知識を深めていただき、実際の行動に移しやすくするためです。ノートとして普段から持ち歩いたり学校でお友達と話すことで安全に対する知識が横に広まることも狙いです。自分の知識を深める縦方向と、他者への広がり横方向の動きにより、安全に関する知識の深い理解と実践が広がることに期待しています。

## 改訂点②記載内容の拡充

以前は、エレベータの仕組みや緊急事態・災害時の対処方法についての紹介でしたが、このたびの改訂版では以下の点を追加しました。

まず、エレベータを利用する際に注意すべきポイントについて詳しく説明しました。例えば、「エレベータではドア周りに注意し、エスカレータでは足元に特に気をつけるようにしましょう。」のように、どこに注意を払うべきか図を用いて分かりやすくしました。

また、安全な乗り方についての紹介を記載し、当社のエレベータ製造拠点、エスカレータ製造拠点の紹介を追加しました。

これによって、エレベータに乗る際に注意すべきポイントや安全に関する情報がより詳細に伝えられるようになりました。

## 安全ノートの内容を一部紹介(エレベータ)

エレベータの事故やけがはドア周りで特に発生しやすく注意が必要です。ドアにもたれかかったり触ったりするとドアの開閉時に手が挟まれ大怪我になる可能性があります。また、急いでいる時でも、ドアが閉じかけたエレベータに駆けこむと他の人を巻き込む大きな事故に繋がってしまいます。また、ペットの紐や縄跳びなどがドアに挟まれたままエレベータが動き出すと大変危険ですので特に注意が必要です。

エレベータの正しい乗り方は、ボタンを乱暴にたたいたり何度も押しつらずに優しく操作してください。エレベータ内で飛んだり跳ねたりすると安全装置が働いて閉じ込めの危険があります。また、隙間に物を落としてしまったときは管理会社に連絡してください。なお、エレベータ内や周りに不審な人がいたら一人でエレベータに乗らないようにしましょう。

もしもエレベータ内で地震にあったら慌てずに全ての階ボタンを押して最寄り階で降り、階段で避難するようにしてください。地震や火災の際にはエレベータを使わないでください。また、エレベータ内で停電が発生した時は非常呼びボタンを3秒以上押し続けて救出を待ちましょう。

**ドアの周りに注意!**

ドアにもたれかかったり、さわったりしないでください。ドアが開く時に手が挟まれて大けがをします。



ドアが閉じかけたエレベータにかけ込まないでください。ドアに挟まれて、ケガをしたり、他の人を巻き込む大きな事故につながります。

ペットのしもやなわとびなど、長いものがドアに挟まれたまま動き出すと、とても危険です。

**もしものとき**

もしもエレベータに乗っているときに停電などでとまってしまったら、非常呼びボタンを押して、落ち着いて救出を待ちましょう。

非常呼びボタンは3秒以上押し続けてね


## 安全ノートの内容を一部紹介(エスカレータ)

エスカレータは転倒の危険が高く、足元に特に注意してください。雨の日は靴が濡れて滑るため転倒のリスクがあります。また、ステップの溝に傘や杖が入らないように気を付けてください。ステップと側面の間やステップと降り口の間は、巻き込まれる危険がありますので、特にサンダルや長靴、衣服の裾に注意してください。

エスカレータの正しい乗り方は、黄色の線の内側に必ず立ち止まって手すりにつかまって乗るようにし、エスカレータの乗り降りする付近では立ち止まったり遊んだりしないようにしましょう。

思わぬ事故を避けるため、前の人と間隔を開けて乗るようにし、エスカレータの外に顔や手を出したり遊ばないようにしましょう。また、ベビーカーやショッピングカートに乗せないようにしてください。

もしも事故が発生してエスカレータを止める必要があるときは上下の乗降口に設置された「非常停止ボタン」を押してください。地震や火災の時はエスカレータを使わないでください。

**足元に注意!**

濡れたくつは滑って転倒する危険性があります。特に雨の日は気を付けて乗ってください。

傘やつえなど先の細いものがステップの溝(すじ)になつくとくぼみに入らないよう注意してください。

ステップと側面の間やステップと降り口の間は、巻き込まれる危険があります。特にサンダルや長ぐつ、衣類のすそに注意してください。

**もしものとき**

もしも事故が発生してエスカレータを止める必要があるときは、上下の乗降口に設置された「非常停止ボタン」を押しましょう。





